

サイコサイバネティクス・セミナー講師の気付き
無料レポート【第6回】「自分らしく生きる！」

モルツ博士は、「他人を生きるな！自分を生きろ！」と教えています。そこで、私が感じたことを今回はお知らせします。

私たち一人ひとは、この世で一人しかいない実にユニークな存在です。自分というのは、自分であり、指紋が他の人とは違うように、自分は他の人とは違います。自分らしく生きることが本物の生き方です。

よく人のマネをする人がいます。これはモデリングと言って、悪いことではありません。よいところは、どんどん盗んでいけばいいのです。しかし、人のマネをしても、決してその人と同じにはなれないということを自覚することは大切です。

あなたはあなたでしかないのです。他の人とは違う存在です。人のマネは、主ではありません。最終的にはあなた自身を知って、あなたのやり方でやらないといけないのです。あなたは世界で一人しかいないユニークな存在なので、いち早く自分のスタイルを確立したほうがいいのです。その上で人のマネをするのならば、大いに効果があると思います。あくまでもマネをするときは、自分らしさを引き出すためにやることです。その人呼び水として、より自分らしさを発揮するためにマネをするのです。主は、あくまでも、あなたなのです。

人のマネをするときは、表面的なカタチや話し方をマネするだけでは、決してあなたらしさは出ませんし、あなたのものにはなりませんから内容も伴ってこないでしょう。だからうまくいかないのです。

チューリップがバラのように咲こうと思っても、絶対バラにはなりません。無理矢理、バラになろうとしたら、なれない分、苦しんだり、悩んだりするだけです。そうではなくて、バラが見事に咲いていたら、その姿を見て、自分はチューリップとして最高の咲き方で咲こうとすればいいのです。自分は自分らしい咲き方をすることです。誰か他の人の咲き方をしようとする、ぎこちなくなり、挙句の果ては、そのようになれないことに落胆してしまいます。これは借り物のニセモノの生き方です。これからは本物の生き方をしなければなりません。

あなたは、誰もあなたの代わりはできない貴重な存在です。自分にしかない自分らしさで勝負していきましょう。そうすればそれは偽らないあなた自身ですから、絶対にボロが出ることはありません。あとは自分を磨くだけです。

私たちは将来こうなりたいというイメージを描いたりしますが、それをやると、本来の自分を見失ってしまう可能性があります。モルツ博士は、「答えは、すでに存在する」とも教えています。こうなりたい！と考えるのではなく、自分の人生に何が期待されているのか？と考えるべきだと思います。そうしないと、チューリップが「バラのようになりたい」と思って、バラを目指してしまうことになるのです。社長になりたい！とあって、なってみると、全然、喜びを感じないのは、社長になることが役割ではないということなのです。

チューリップはチューリップですから、どう転んでもバラにはなりません。ですから、自分自身の本当の役割は何なのかを発見し、それに徹することが大事です。自分はチューリップだと分かったら、チューリップとしての役割を果たして、チューリップらしく生きるということです。

「自分の役割」を意識して生きることこそが、「他人を生きるな！自分を生きる！」ということだと思います。